

# (数学I) 学習指導案

					授業者	
学級	1年6組	教室	213教室	日時	平成22年6月15日(火) 2時限	
単元	第1章 方程式と不等式			使用教科書	改訂版 新編 数学I (数研出版)	
指導目標	式の展開や因数分解などの式の計算を確実にし、平方根や絶対値の扱いに慣れさせ、目的に応じた式変形ができるようにする。また、1次方程式や不等式、2次方程式の性質を理解させ、それらの解法を定着させる。			指導計画	第3節 方程式と不等式 6. 1次方程式と1次不等式 ・・・5時間 7. 絶対値と方程式・不等式 ・・・2時間(本時はその2時間目) 8. 2次方程式 ・・・4時間	

## 本時の指導

主題(教材)	絶対値を含む方程式、不等式			
前時の課題	課題プリントの問題を解いてくる。			
目標	絶対値の定義を確認させ、絶対値を用いた方程式、不等式を、定義を利用して解けるようにする。さらに場合分けによる求め方も考えさせる。			
指導過程	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項	評価の方法・規準等
	(導入) 課題の内容と本時の内容を確認する。	5	・絶対値の計算が確実にできたかを確認させる。	・課題の内容が理解できているか。〈知識・理解〉
	(展開) 1 絶対値の定義を確認する。	5	・絶対値の定義が数直線上の原点からの距離であったことを確認させる。	・数直線を用いて絶対値の方程式、不等式を解くことができるか。 〈表現・処理〉
	2 例27を考え、練習59を解く。	10	・距離の大小を数直線で確認させ、不等式の解を求めさせる。	
	3 例題14を解く。 (1) 例27を利用した解法	15	・生徒の理解度によって、文字の置き換えなどの工夫も提示する。	・学習した解法を用いて解くことができるか。 〈表現・処理〉
	(2) 距離を意識した解法	10	・ $ x-2 $ が点P(x)と点A(2)との距離であることに気付かせる。	・2点間の距離を絶対値記号を用いて表現できるか。 〈数学的な見方や考え方〉
(整理) 1 本時のまとめをする。 2 次時の内容を確認する。	5	・練習60を課題とする。		
備考	学科・類型(普通科・スポーツ健康類型) 男子(29人) 女子(11人) 計(40人)			